

## 計画後期目標値の設定及び目標達成に必要な取組み(案)

事業区分	指標	計画前期(H26年度～H29年度:4カ年)		計画後期(H30年度～H32年度:3カ年)			
		目標設定の考え方	目標値 実績値(見込み)	目標設定の考え方	目標値	関係する実施事業 <small>(太字は後期からの実施事業)</small>	具体的な取り組み内容 <small>(○継続 ◎新規・拡大)</small>
通行空間	自転車ネットワーク路線の整備延長	自転車ネットワークの構築において選定した優先整備路線32.8kmのうち、平成29年度末までにその半分弱の整備を目指すこととし、目標値を設定します。	目標値:14.0km 実績値:8.1km H29年度予定:2.2km <small>(平成29年度末時点)</small>	優先整備路線の内、計画前期に整備を予定していたが未整備となっている路線、及びその他の優先整備路線の内、市内中心部とのアクセスを考慮した、過年度整備済路線と接続する路線の整備を進めることで自転車ネットワークの早期構築を図ることを目指し、目標値を設定します。	10.0 km 総整備延長 18.1km <small>(平成32年度末時点)</small>	(通勤)通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備 (買物)買物目的の自転車通行空間の整備 (共通)自転車ネットワークの構築	○自転車ネットワーク路線の整備推進 ◎暫定形態を積極的に活用した自転車通行空間の整備  【整備予定路線】 県道:豊橋湖西線 市道:東松山1号線、牛川町・忠興町28号線、牛川通・飯村町1号線 菰口町・旭町1号線、上伝馬町・西小田原町1号線 ほか
駐輪	駐輪場台数	通勤、通学における自転車利用者の利便性を高めるため、中心市街地や鉄道駅、停留場等の近くに、平成29年度末までに約300台の駐輪場整備を目指すこととし、目標値を設定します。 また、既存の駐輪場を使いやすいようにすることで利用促進も図っていきます。	目標値:9,000台 実績値:8,751台 <small>(平成29年度末時点)</small>	計画前期で未整備となっている豊橋駅東口周辺や、他の交通結節点において、約250台の新たな駐輪場整備を目指すこととし、目標値を設定します。 また、既存の駐輪場を使いやすいようにすることで利用促進も図っていきます。	9,000 台 <small>(平成32年度末時点)</small>	(通勤・通学)交通結節点における駐輪場整備 (買物)まちなかにおける駐輪環境の向上 (共通:利用環境)自転車利用環境向上のためのスポットづくり	◎渥美線南栄駅のバリアフリー化に併せた駐輪場施設の再整備 ○豊橋駅東口自転車等駐車場の施設改修等による利便性の向上 ○ストリートデザイン実施路線での店舗前駐輪の検討 ◎まちなかや交通結節点における駐輪場整備 ◎公共施設や民間施設へサイクルラックや空気入れ等の設置
安全教育	交通安全教室等の受講人数	現在児童・生徒や高齢者などを対象に実施している交通安全教室等を、受講範囲の拡大や企業での自転車通勤促進の取組みと合わせた開催により、毎年約700人ずつ受講者を増加させることを目指し、目標値を設定します。 また、安全教育の効果をあげるため、新たな安全教育手法についても検討し、導入を進めていきます。	目標値:119,000人 実績値:123,248人 H29年度予定:32,000人 <small>(平成26年度から平成29年度までの合計)</small>	計画前期で実施してきた交通安全教室等を、受講範囲の拡大や企業と連携した開催等により、毎年約1,000人ずつ受講者を増加させることを目指し、目標値を設定します。 また、自転車の貸付及び補助と併せた安全教育を強化することで、効果的な自転車安全利用の意識啓発を図ります。	102,000 人 H30:33,000人 H31:34,000人 H32:35,000人 <small>(平成30年度から平成32年度までの合計)</small>	(通勤)企業を通じた交通安全教室の実施 (通学)自転車運転免許制度等の新たな安全教育手法の導入 (買物)自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施 (共通)対象・課題に応じた安全教育の実施	◎企業と連携した交通安全教室の充実 ◎中学生を対象としているスクエアードストリート交通安全教室を高校生へ拡大 ○三人乗り自転車の貸出し説明会での交通安全教育実施 ○各世代を対象とした交通安全教室の実施
意識啓発	自転車通勤促進の働きかけを行った企業数	「豊橋市の事業所(H19)」に掲載されている従業員数100人以上の事業所約150社のうち、平成29年度末までに約半数に対し自転車通勤を促進させるための働きかけや自転車利用のメリットの周知などを行うことを目指し、目標値を設定します。	目標値:75社 実績値:38社 <small>(平成26年度から平成29年度までの合計)</small>	事業所ごとに勤務形態や通勤制度が異なるなど、自転車通勤を勧めることが困難な状況もあることから、計画前期で対象とした従業員数の事業所に限らず、より多くの事業所に対して交通安全や健康面でのメリットを中心とした働きかけを行うことを目指し、目標値を設定します。	100 社 <small>(平成30年度から平成32年度までの合計)</small>	(通勤)企業向け自転車通勤促進セミナーの開催 (通勤)健康増進のための自転車活用の推進 (通勤)サイクル&ライドの推進 (共通)自転車保険のPR (共通)利用目的に応じたメリットの周知 (共通)自転車マップ等の作成	◎企業向け自転車安全・快適利用講習会の開催 ◎健康経営に取り組む企業に対して健康づくりメニューの1つとして自転車通勤の提案 ◎「健康づくりに関する情報提供」での自転車活用に関する記事掲載 ◎健康教育の中で自転車活用のメリット周知 ○公共交通マップへのサイクル&ライド駐輪場の掲載 ○自転車交通安全街頭啓発での保険加入チラシの配布 ◎県境企業と連携したエコ通勤おすすめルートの検討
支援・補助	自転車に関する補助・貸出しを受けた人数	電動アシスト自転車の購入費に対する補助を受けた人数、三人乗り自転車の貸出しを受けた人数について、現在減少傾向にある中、事業の周知などを行うことで、1年あたり現状の約900人を維持することを旨とし、目標値を設定します。	目標値:3,600人 実績値:4,081人 H29年度予定:1,345人 <small>(平成26年度から平成29年度までの合計)</small>	計画前期で実施してきた補助・貸出し事業の様々な機会を通じた更なる周知や、新たな事業の導入により、補助・貸出しを受けた人数を1年あたり約1,400人に増加させることを目指し、目標値を設定します。	4,200 人 約1,400人×3カ年 <small>(平成30年度から平成32年度までの合計)</small>	(通勤)企業における自転車通勤環境の改善 (買物)自転車普及のための貸付及び購入補助	◎自転車通勤促進のための通勤用自転車貸出し ○自転車に関する交通安全教室受講者への自転車ヘルメット購入補助券配布 ◎警察が実施する高齢者自転車教室受講者への自転車ヘルメット購入補助券配布 ○三人乗り自転車貸出し説明会での自転車ヘルメット購入補助券の配布 ○貸出し用三人乗り自転車の修繕等による安全性の確保 ○電動アシスト自転車の購入費の一部助成 ○広報とよはしやホームページ等を活用した事業の周知
レジャー	自転車関連イベントの開催回数	現在、年5回開催されている行政または公共的団体が関係する自転車関連イベントについて、年1回開催数を増加させることを目指し、目標値を設定します。 また、現在開催されているイベントについても、PRや内容の充実、拡大により参加者の増加を目指します。	目標値:24回 実績値:25回 <small>(平成26年度から平成29年度までの合計)</small>	現在、年6回開催されている行政または公共的団体が関係する自転車関連イベントについて、サイクリング・ボタリング関連イベントの新規開催などにより年1回開催数を増加させることを目指し、目標値を設定します。	21 回 7回/年×3カ年 <small>(平成30年度から平成32年度までの合計)</small>	(共通)サイクリング、ボタリングコース等の設定 (共通)自転車イベントの開催	◎サイクリング・ボタリングコースマップの作成 ○自転車イベントの開催